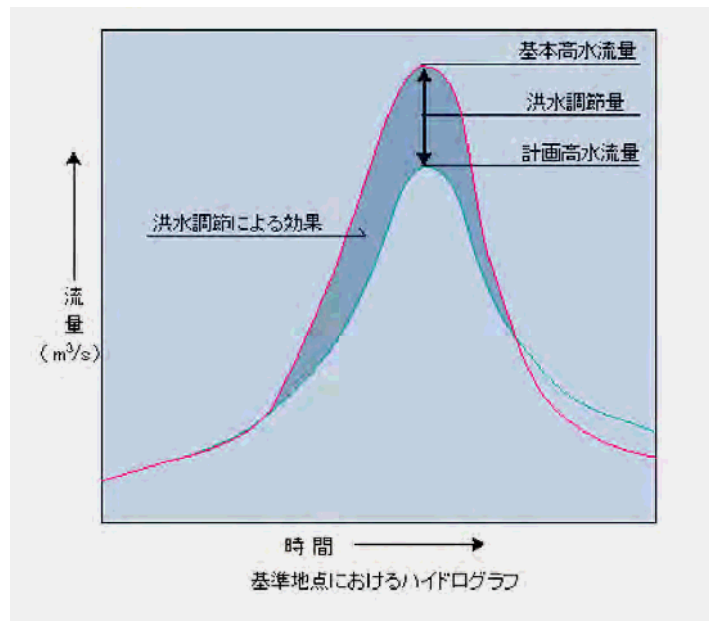


## 用語解説

- : 揖保川流域委員会提言用語解説より
- : 新規解説

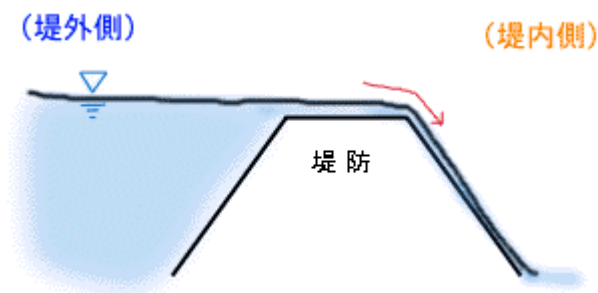
### ●基本高水（きほんたかみず）・計画高水（けいかくたかみず）

洪水を防ぐための計画で基準とする洪水のハイドログラフ（流量が時間的に変化する様子を表したグラフ）を表します。人工的な施設で洪水調節が行われていない状態、言いかえるなら流域に降った計画規模の降雨がそのまま河川に流れ出た場合の河川流量を表現しています。基本高水流量は、このグラフに示される最大流量から決定された流量の値です。計画高水流量は、河道を設計する場合に基本となる流量で、基本高水を河道と各種洪水調節施設（ダムなど）に合理的に配分した結果として求められる河道を流れる流量です。言いかえればこれは、基本高水流量から各種洪水調節施設での洪水調節量を差し引いた流量です。



### ●越水（えっすい）

増水した河川の水が堤防の高さを越えて溢れる出す状態のことです。



(出典： 北海道開発局帯広開発建設部ホームページ)

### ○溢水（いっすい）

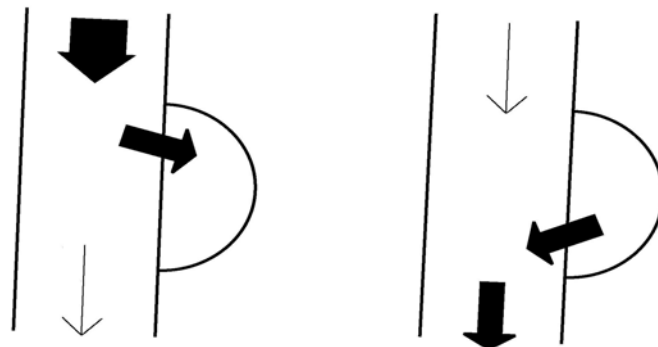
堤防が無い区間で河川の水が増水し溢れ出る状態のことです。

### ○頭首工（とうしゅこう）

河川から水を引き入れるための施設である堰のうち、一般的に農業用水を引き入れるための堰のことを頭首工といいます。

### ●遊水地（ゆうすいち）

洪水を一時的に貯めて、洪水の最大流量（ピーク流量）を減少させるために設けた区域のことです。



洪水時、一時的に水を貯め、  
下流への流量を減らします。

下流が安全な状況になって  
から放流します。

### ●調整池（ちょうせいち）

開発に伴って失われた保水機能を補うため、雨水を一時的に貯めて河川への雨水の流出量を調節することにより洪水被害の発生を防止する施設です。

### ●樋門（ひもん）・樋管（ひかん）・水門（すいもん）

洪水などにより本川の水位が高くなった時に、合流する支川への逆流を防ぐ施設のことです。このような施設のうちで、堤防の中にコンクリートの水路を通し、そこにゲート設置したものを樋門または樋管と呼びます。樋門と樋管の明確な区別はありませんが、一般には規模の小さいものを樋管、大きいものを樋門と呼び、機能は同じです。また堤防を分断してゲートを設置した施設を水門と呼びます。

### ○堤内地（ていないち）

堤防によって洪水氾濫から守られている住居や農地のある側の土地のことです。

### ○堤外地（ていがいち）

両岸の堤防にはさまれた河川の流水が流れている側の土地のことです。

●外水（がいすい）

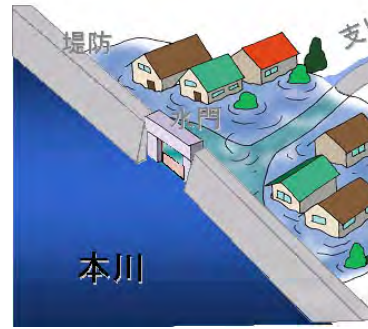
堤外側（堤防より川側）を流れる河川の流水のことです。

●内水（ないすい）

川よりも堤内の地盤高が低い、あるいは高低差が少ないため、川に流れ出にくくなり、堤内地に溜まってしまう水のことです。



支川流域に降った雨は、本川に排水されます。



大雨が降り本川の水位が上がると、支川の水が排水されずに溢れてしまいます。

○外水氾濫（がいすいはんらん）

洪水により河川本川の破堤や越水のために堤内地側が氾濫することをいいます。

○内水氾濫（ないすいはんらん）

洪水により河川本川の水位（外水）が上昇すると堤内地の自然排水が困難となり堤内に停滞した雨水（内水）が氾濫することをいいます。

○護岸（ごがん）

川を流れる水的作用（浸食作用など）から河岸や堤防を守るために、堤防または河岸を保護するために設置される構造物をいいます。

○汽水域（きすいき）

河川の河口～下流域などに形成される淡水と海水が混合して形成される区域をいう。

○閘門（こうもん）

河川、運河等において舟運を図るために設ける構造物で、堰あるいは水門によって水面が遮断された場合や、水面に高低差があるような河川間などで舟航を行う場合に設けられる。水位差のある河川または水路間に船舶を航行させるために設けられた施設で、前後にゲートを取り付けた室（ロック）内の水位を給排水設備により調節することにより、船舶の航行を可能にします。